

# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

0／3 仁  
羽

□□□

1. 我ら歌（うと）う みちのくに 奇（く）しき山あり 真（げ）に山の王者蔵王 ああ燃ゆる火を胸にいだきて ああ地に黙すこの幾年（いくとせ） 嵩（た）かき想いの胸に激しく 耐（え）てゆくもの 我ら夢あり 2. 我ら歌（う）しき山あり 愛（は）しき山あり 不（わす）れじの山よ蔵王 ああ別れ咲く陸羽の空に 熱（あ）きいの咲く胸に激しく 深（こ）い 我ら歌あり 3. 我ら歌（う）みちのくの 蔵王の嶺（やま）の白銀の華よ樹氷 ああ人の世の聖（きよ）き界（くに）とぞ ああ若人の泣きて慕いし 樹氷の人の胸に激しく かわの山に呼ぶ 我らの祈らん

# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

奇羽 仁

1

1.

□□■

我ら歌<sup>(うた)</sup>う みちのくに  
奇<sup>(く)</sup>しき山あり

真<sup>(げ)</sup>に山の王者蔵王

ああ 燃ゆる火を

胸にいだきて

ああ 地に黙す

ここに幾年<sup>(いくとせ)</sup>

嵩<sup>(たか)</sup>き想いの

胸に激しく

耐えてゆくもの

この山に 我ら夢あり

# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

音 仁  
羽 3



2.

我ら歌う みちのくに

愛<sup>(は)</sup>しき山あり

不忘<sup>(わす)</sup>れじの山よ蔵王

ああ 国分けて陸羽の空に

ああ 別れ咲く

二つのうれい

熱きいのちの

胸に激しく

深ければこそ

この山に 我ら歌あり

# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

3／3 羽仁



3.

我ら歌う みちのくの

蔵王の嶺(やま)の

白銀の華よ樹氷

ああ 人の世の

聖(きよ)き界(くに)とぞ

ああ 若人の

泣きて慕いし

樹氷の山の 胸に激しく

われを呼ぶもの

この山に 我ら祈らん

End

# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

0／3 仁  
音羽

□□□

1. 我ら歌（うと）う みちのくに  
奇（く）しき山あり  
真（げ）に山の王者蔵王  
あ（あ）燃ゆる火を胸にいだきて  
あ（あ）地に黙すここに幾年（いくとせ）  
熱（え）き想（ゆ）くの胸に激しく  
耐（え）き想（ゆ）くの胸に激しく  
この山にゆくもの夢あり
2. 我ら歌（う）みちのくに  
愛（あ）は（は）しき山ありに  
あ（あ）別（れ）咲（く）陸（り）の空に忘れじの山よ蔵王  
あ（あ）の別（れ）咲（く）陸（り）の空に忘れじの山よ蔵王  
熱（え）き（き）の胸に激しく  
深（け）い（い）のちの胸に激しく  
この山にゆくもの夢あり
3. 我ら歌（う）みちのくに  
蔵（ぞう）王（おう）の嶺（ね）の（やま）のくに  
あ（あ）あ（あ）人の世の聖（き）慕（い）し  
あ（あ）あ（あ）人の世の聖（き）慕（い）し  
樹（じゅ）氷（ひ）の山の胸に激しく  
わ（わ）の山にゆくもの祈らん

# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

奇羽 仁

1

1.

我ら歌（うと）う

みちのくに

奇（く）しき山あり

真（げ）に山の王者蔵王

ああ 燃ゆる火を

胸にいだきて

ああ 地に黙す

ここに幾年（いくとせ）

熱き想いの 胸に激しく

耐えてゆくもの

この山に 我ら夢あり



# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

音羽 仁



2.

我ら歌う みちのくに  
愛（は）しき山あり

忘れじの山よ蔵王

ああ 国分けて陸羽の空に  
ああ 別れ咲く

二つのうれい

熱きいのちの 胸に激しく

深ければこそ

この山に 我ら歌あり

# 蔵王のうた

【作詞】刈田  
【作曲】白鳥

3／3 羽仁



3.

我ら歌う みちのくに  
蔵王の嶺（やま）の  
白銀の華よ樹氷  
ああ 人の世の  
聖（きよ）き  
界（くに）とぞ  
ああ 若人の  
泣きて慕いし  
樹氷の山の 胸に激しく  
われを呼ぶもの  
この山に 我ら祈らん

End